

中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた

地域の支援団体育成・強化事業

公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	とっとり震災支援連絡協議会
代表者名	川西 清美
申請事業名 主題	鳥取県における災害支援団体連携強化及び拠点(鳥取県東部)整備事業
申請事業名 副題	
エリア/テーマ	【鳥取県】 A コース:地域内ネットワーク構築枠
解決すべき社会課題	④災害支援事業 災害復旧・生活再建支援 防災・減災支援 (2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援 ⑥女性の経済的自立への支援 ⑨ その他 (3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 ⑦ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援 ⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 ⑨ その他
申請事業の概要	1, 団体連携、ネットワークの構築 ・鳥取県(東部を中心)においては、災害支援に関し発災に際し都度活動してきた団体の、それぞれの強みが生かされるよう活動内容の共有と、支援にかかる共通の研修の企画し、意見交換を通して平素からの災害支援への意識の高揚をはかる。有事の際には対象地域の支援に早い対

	<p>応が可能になるよう協議を進める</p> <p>① 年2回の情報交換会により個々の団体の活動を共有</p> <p>② 年1回の支援活動にかかる研修(ex.アウトリーチ活動について、被災者のメンタルケアについて など)</p> <p>2. 平素からそれぞれの団体の利用者はもとより、それぞれのかかわる災害等支援者の把握、その共有を図るための情報交換会を通年において実施する。発災時にはスムーズな対応と、取りこぼしのない被災者支援にあたることが可能な体制を整える。</p> <p>① 可能な連携団体の平素の活動に参加、活動内容の把握</p> <p>② 社会的弱者などテーマを設定した居場所づくりのための交流会を実施</p>
事業実施地域	鳥取県
申請事業期間	(開始月)2023年10月～(完了月)2026年3月
申請助成額	<p>11,018,170 円</p> <p>【内訳】直接事業費 9,846,790 円、管理的経費 1,551,380 円、評価関連経費 440,000 円</p>

■ 審査コメント

- ✓ 資金計画では人件費の割合が大きく、継続的な体制づくりが課題になる
- ✓ 継続性が見えにくい。法人化することは目標として見えるが、その先が見えないことが気になる
- ✓ 既存事業の継続が目的に見える箇所があるので、よく確認したい
- ✓ 既存の災害関連のネットワークや、NPO や社協との連携に、民間で取り組む団体に成長してほしい。より多くの団体、社協、行政、地域との関わりの構築を期待する
- ✓ 地域内の要配慮者をあらかじめ把握するためのカルテづくりは、事業のキーになる
- ✓ カルテが肝。コミュニケーションツールとしても有用できる。これが共感を生み、会員の参加や活動継続のための寄付にもつながっていく。カルテをどう活用できるか
- ✓ もともとカルテづくりと災害関連団体のネットワークづくりは別で想定されたものであるが、カルテを多く集めることが結果的にネットワーク協力団体との連携が進むということになる